

奈弓連だより

通巻 200号

平成 30 年 10 月号

発行 奈良県弓道連盟

会長 西中 正

編集担当 野尻賢司 山本悦子

連絡先 : henshu@narakyudo.jp

第 73 回国民体育大会弓道競技

成年男子が 8 位入賞

第 73 回国民体育大会弓道競技が 10 月 2 日に近的予選、遠的予選、10 月 3 日に近的決勝トーナメントで敦賀市総合運動公園にて開催されました。奈良県からは、成年男子の部で今西達也、奥田章人、新子修平の 3 選手が出場し、近的競技で 8 位に入賞しました。遠的競技は残念ながら予選 14 位で、決勝に進むことができませんでした。

(事務局)

福井国体に出場して

今年も近畿ブロック（和歌山田辺市）は、毎度のごとく非常に緊張感のある大会でありました。出場している選手それぞれが、色々な思いを背負ってきていることがひしひしと伝わってきて、どの射会とも違った独特の雰囲気会場や控えをただよっています。結果は、去年の愛媛国体に引き続き残念ながら、奈良県からの福井国体出場権を得たのは成年男子のみでした。

本国体では、台風の影響もあり、従来 2 回行われる近的、遠的予選が一回のみとなり、半年間練習を積み重ねてきた全てを 4 本にかけることになりました。近的予選はハイレベルな大混戦となり、決勝トーナメント進出できるのは 8 チーム、予選結果は 12 射皆中 1 県、11 中が 6 府県、10 中が 5 県と、非常に精神力を試されました。結果、近的は 11 中で予選通過、トーナメント一回戦負け（栃木 11 中—8 中奈良）の後、順位決定で 8 位となり、遠的は 11 中と奮闘したものの、点数が伸びず予選敗退となりました。

この半年間、長濱監督のご指導の下、強化メンバーが、選手、控え選手ともに、ライバルであり、そして、



左から奥田、新子、今西の各選手、そして長濱監督

ともに学び支え合い、成長していく様は一緒に稽古させてもらっている中で常に感じることができました。

結果は近的 8 位入賞でしたが、それぞれが得たものはそれよりも大きかったのではないのでしょうか。最も大きな大会で、個人戦のない団体競技、国民体育大会弓道競技、監督を信じ、お互いを信じ尊重し、控え選手や、強化メンバーになれなかった仲間の思いなど交錯する思いは、人を謙虚にさせ成長させると思えます。勝ち負けの弓道でなく、独りよがりの弓道でなく、共に成長できる生涯（スポーツ）弓道を、ここでしか感じるこののできない経験が、近い未来の奈良県弓道連盟の一助になっていることを願います。

(五條支部 新子修平)

全日本男子・全日本女子弓道選手権大会

第 69 回全日本男子弓道選手権大会は 9 月 14 日～16 日、また第 51 回全日本女子弓道選手権大会は 9 月 16 日～18 日、中央道場で開催されました。奈良県の代表選手（吉本清己、長濱正伸、綿松昭寛、白井礼子）は残念ながら予選敗退しました。

(事務局)

全日本弓道選手権大会に出場して

まだまだ実力不足を実感

樫原支部 綿松昭寛

全日本弓道選手権大会に初出場させていただきました。これまで実際に大会を観戦した経験がないため、どのような雰囲気で行われているのか分からず、漠然と憧れている大会でした。一体自分が本番でどうなってしまうのか想像もつきませんでした。今回は 4 回目の出場吉本清己さんと樫原で長く一緒に稽古を続けてきた長濱正伸さんという同年代のお二人との出場だったので非常に心強かったです。また県予選、近畿予選という緊張する状況を二度経験して臨めたことが、心の準備の面で良かったと思います。

大会の目標としては、自分に負けずに全力で精一杯引くということを目指し、射のチェックポイントを一つ一つ追いつながら比較的冷静に引けたと思います。しかしながら予選通過ラインには程遠く、まだまだ実力不足であるという自分の現在地を知ることができました。大会では名立たる選手の方々が周りにおられ、本会場はもちろん、巻き藁練習場でも鋭い弦音が至る

(2 頁下 左欄に続く)

「奈弓連だより」200号に寄せて

会員から期待される情報紙に育てたい

奈良県弓道連盟会長 西中 正

20年位前まで、秋期国体のこの時期、秋晴れが続きさわやかな気候のなかで大会、競技会が開催されていたように記憶しています。しかし、近年は大会を主催するにも異常気象対策を考慮しながら、特に迷走する台風に振り回される事が多い大会が続いています。今年は特に過去にない変則な国体でしたが、成年男子が結果を残せたのは嬉しいニュースです。

吉本清信名誉会長が会長の時に「奈弓連だより」を発行されて今月で200号を迎える事になりました。国民体育大会等の記録報告、講習会等の受講者報告、審査会の結果報告等が載せられてきました。

昨今、ホームページ開設や、各支部のネットワークが充実されて事務局からの連絡、報告が早くに手元に届くようになってきました。

「奈弓連だより」の発行当初は吉本清信先生が奈良県弓道連盟記録史の発刊にこの記録が役立つとの思いがあったと推察しています。

今後も「奈弓連だより」の役割としては記録、報告はもとより競技会、講習会に関する参加者の感想、支部活動、学校部活動、弓道への思いなど幅広いものがあります。初心者から熟練者まで年齢を問わず、次号を待たれる情報紙に育てて行きたいものです。記憶にも記録にも残る奈弓連だよりを作って行きましょう。

「奈弓連だより」の更なる発展と継続を期待します

奈良県弓道連盟名誉会長 吉本清信

「奈弓連だより」200号、あらためて、ここまで続けてこられたことに、感謝申し上げます。「奈弓連だより」発行のきっかけは、京都の武道センターで、京都府連のニュースが掲示されていたのをみたことでした。奈良県でも情報発信の手段として、メールを利用して、発行することになりました。

当初は、事務局の仕事を少しでも軽減できればと、来月の行事予定等、諸行事の案内が中心でした。また、競技会や講習会に参加できなかった人にも、情報の共有化という意味で、諸行事の結果を報告することも、「奈弓連だより」の大きな使命でした。また、中学・高校・大学・一般とそれぞれの結果報告をすることによって、お互いの情報共有の場となってきたことの意義は大きかったと思います。

しかし、これからは、競技会の結果の速報等は、ホームページを中心にして、「奈弓連だより」の使命は、また、違った方向に向かうべきかとも思います。今、全日本弓道連盟の機関誌「弓道」の古い本を紐解いていますが、そこには、弓道談義・弓具の取り扱い方・連盟のあり方の座談会等、いろんな方面からの記事が見られ、興味ある内容になっています。

今後の「奈弓連だより」の更なる発展と継続を期待しております。

追記：過去に一度、特別号が発行されています。通巻27号平成16年8月の特別号です。国体近畿ブロック大会で、成年女子・少年男子・少年女子が国体へフル出場権を得たときです。今後も、号外的にこのような特別号をどんどん出してもらいたいものですね。

所で響いていました。差は歴然で、当日の調子がどうこうとか、来年こそはとかいう次元で埋められるものではありません。再び出場できるように、一歩でも近づけるように精進をしていきたいと思えます。出場にあたって色々とおアドバイスを下さった皆様方有難うございました。またこのような貴重な機会を与えて頂き感謝を申し上げます。有難うございました。

名だたる選手と共に参加でき、良い経験に

樞原支部 長濱正伸

全日本選手権大会は、憧れの大会であり、何時の日か出場してみたいと思っていた大会でした。今回、初めて出場させていただくことができ、出場したからには自分の力を精一杯ぶつけ、どこまで通用するのか試

そうと臨みました。そして大会では、比較的落ち着いて行射することができましたが、4射3中するも予選49位という成績で予選通過には、ほど遠いものでした。しかし、各都道府県の名だたる選手と共に大会に参加できたことは、本当に良い経験になりました。各都道府県の素晴らしい選手の方々の射、雰囲気を感じることができ、今後の自分の糧にしていき、来年、再来年と再び全日に参加し少しずつでも成績をあげていければと思います。

大会に出場するまでに、ご指導いただきました各先生方、一緒に練習してきた国体強化選手の方々にお礼申し上げます。また、応援していただいた県連の皆様、ありがとうございました。

2018年夏季中高一貫指導講習会報告 体を動かして身に付ける練習を目指す

平成17年から続いています中高一貫指導講習会を、本年度も実施しました。昨年までは、高校各1名(21校)、中学各3-4名(7校)で40人規模の講習会でしたが、今年度は、高校から各校2名の参加の提案がありました。また、前半が中学の大会日程と重なり、後半が高校生の日程が確保できないことと、60人規模の講習会は運営が困難のため、今年は前半7/25、8/4を高校生対象、後半8/18、8/25を中学生対象として実施。今年の夏は猛暑で熱中症も危ぶまれ、また台風と重なりそうになった日もありましたが、事故無く終えることができました。

内容としては、坐射の練習、入退場の練習、失の処理の練習、射技研修を中心に、班毎にローテーションする班別研修を中心に行いました。また、配布資料を作成し、スライドを交えた体配のレクチャーも行いました。中学生、高校生では、体配の習熟度に差があるので、なるべく見るだけでなく、体を動かして身に付ける練習を意識して行いました。講習内容を各校に持ち帰っていただいて、大きな大会に出ても、奈良県代表として良い成績を残して、立派な体配をしてくれることを期待しています。

(指導部 吉本清巳)

近畿地域弓道大会

前回に続き男子団体、女子団体ともに奈良県勢が優勝

10月7日秋晴れの下、滋賀県立武道館弓道場を会場に近畿地域弓道大会が開催されました。奈良県勢は、前回に続き男女団体が優勝、男子個人も2位から5位までを独占するというすばらしい成績を収めました。結果は次のとおりです。

男子団体

優勝 奈良E 今西、奥田、新子

女子団体

優勝 奈良H 土谷、揚田、松澤

男子個人

2位 今西達也 3位 新子修平
4位 奥田章人 5位 西川義春



左から入賞、優勝した 西川、新子、奥田、今西、松澤、揚田、土谷の各選手

(事務局)

昇段おめでとうございます

9月24日近畿地域連合審査が兵庫県川西市立弓道場にて行われました。奈良県からは次の皆さんが合格され、五段に昇段されました。

宮脇 紀行 (郡山) 中川 亨 (奈良)
柴島 なるみ(奈良) 猪原 旬子 (奈良)
中西 省五 (五條) 衛藤 明美 (橿原)

おめでとうございます。

(事務局)

奈良県高校総体弓道競技

男子団体の部 : 郡山高校Aチームが優勝

女子団体の部 : 奈良北高校Cチームが優勝

9月23日に橿原公苑弓道場において第71回奈良県高校総体弓道競技が開催され、男子・女子それぞれが個人戦及び団体戦を競いました。結果は次の通りです。

男子個人

予選4射3中以上通過 通過者23名で準決勝
準決勝8名通過

決勝射詰めにより

1位 坂上宗平 (五條) 2位 久田悠平 (郡山)
3位 佐藤匠真 (郡山)

女子個人

予選3中以上通過 通過者15名で準決勝
準決勝5名通過 決勝射詰めにより

1位 吉田実莉 (平城) 2位 北浦有希 (五條)
3位 植木鈴華 (郡山)



男女とも左から3位、2位1位の選手

男子団体

予選12射6中以上通過 通過15チームで準決勝
準決勝通過8チームで決勝トーナメント

1位 郡山高校A 2位 平城高校A
久田・火威・鈴木 久保田・梶野・大鎌
3位 五條高校A 3位 磯城野高校A
岩井・坂上・岡田 平嶋・竹内・西浦

女子団体

予選12射5中以上通過 通過14チームで準決勝

準決勝通過 8 チームで決勝トーナメント

- 1 位 奈良北高校 C 2 位 郡山高校 A
長山・鶴野・有田 植木・光井・古内
3 位 畝傍高校 A 3 位 西の京高校 A
土橋・西川・菊池・濱口 森田・一九・木村



前列は優勝した郡山高 A、後列は左から 3 位磯城野高 A、3 位五條高 A、2 位平城高 A



前列は優勝した奈良北高 C、後列は左から 3 位西の京高 A、3 位畝傍高 A、2 位郡山高 A

(高体連 藤村佳照)

第 63 回 橿原市民体育大会

晴天の下、約 130 名が遠的、近的で競う

10 月 8 日 (月) 橿原公苑弓道場にて第 63 回 橿原市民体育大会が開催されました。夏を思わせる晴天の下、市内の中学生・高校生・大学生の他、一般のオープン参加もあり、約 130 名での盛大な大会となりました。

遠的開始前には、全日本遠的選手権出場者の綿松さん・白井さん・揚田さんによる演武が行われました。遠的をする機会の少ない参加者にとって大変勉強になった事と思います。

大会結果は以下の通りです。(近的 8 射、遠的 8 射)

一般男子の部

- 1 位 綿松 昭寛 2 位 伊藤 千貴 3 位 山本 元祥

一般女子の部

- 1 位 長濱 有美 2 位 梅崎 康代 3 位 西谷あずさ

オープンの部

- 1 位 奥田 章人 2 位 揚田よう子 3 位 林 秀子

高校男子 近的の部

- 1 位 尾井 響涼 (橿原高) 2 位 野澤 涼 (王寺工)
3 位 松岡 賢 (橿原高)

高校男子 遠的の部

- 1 位 辻井 寛己 (橿原高) 2 位 尾井 響涼 (橿原高)
3 位 増田 拓人 (橿原高)

高校女子 近的の部

- 1 位 大和田温菜 (橿原高) 2 位 植村 芽瑠 (橿原高)
3 位 池田 朱蘭 (橿原高)

高校女子 遠的の部

- 1 位 奥田 愛菜 (橿原高) 2 位 河村 歩優 (橿原高)
3 位 植村 芽瑠 (橿原高)

中学男子 近的の部

- 1 位 田中 孝大 (橿原中) 2 位 多田 春生 (橿原中)
3 位 山本 歩音 (橿原中)

中学男子 遠的の部

- 1 位 多田 春生 (橿原中) 2 位 大野 光悠 (八木中)
3 位 藤田 和大 (白橿中)

中学女子 近的の部

- 1 位 仲村 美世 (八木中) 2 位 牛山未侑 (大成中)
3 位 森本菜々花 (白橿中)

中学女子 遠的の部

- 1 位 植木花音 (大成中) 2 位 木村菜々穂 (大成中)
3 位 冷水あさみ (青翔中)



橿原市民体育大会で入賞した選手たち

(橿原支部 長濱有美)

高校の弓道部を舞台にしたアニメ「ツルネー風舞高校弓道部」が NHK 総合で放送開始

10 月 21 日 (日) 深夜 24 時 50 分から放送。制作にあたって、奈良県弓道連盟の先生方にご協力をいただきました。

(高体連 藤村佳照)



編 | 集 | 後 | 記

「奈弓連だより」200号を記念して、西中会長、吉本名誉会長からメッセージをいただきました。期待に応えるためには現状に満足するのではなく、編集内容をもっと進化させる必要を感じました。そのためにも皆様からの更なるご支援をお願いします。

編集担当 野尻賢司